

# 下水道事業業務状況説明書類 (令和2年度上半期)

# 事業の概況

●公共下水道の整備状況（R2.9.30現在）

区 分	令和2年3月末	令和2年9月末	令和2年度上半期増減
水洗化人口（区域内）	39,214人	39,070人	▲144人
水洗化率（区域内）	86.8%	86.9%	0.1%

※水洗化率は、水洗化人口を供用開始人口で除した数値。

●個別排水処理施設の整備状況（R2.9.30現在）

区 分	令和2年3月末	令和2年9月末	令和2年度上半期増減
設置等基数	88基	91基	3基

※設置等基数には、個別排水処理施設事業開始以前に利用者が設置し、事業開始後に市が受贈したものを含む

## 工事発注の状況（R2.4～R2.9）

### 【公共下水道事業】

予算：収益的支出 款：下水道事業費用 項：営業費用 目：管渠費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
下水道管路上舗装補修工事	2020/7/13	4,158,000	富士建設(株)

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
汚水管渠改良工事その1	2020/5/13	14,498,000	(株)ケイダイ
3916外雨水管渠新設工事	2020/5/14	50,061,000	常盤建設(株)
4133外雨水管渠新設工事	2020/5/14	38,841,000	柳町建設(株)
汚水桝設置工事その1	2020/5/21	4,114,000	(有)合田産業
汚水管渠改良工事その2	2020/5/27	9,559,000	(株)リフィット
新川町外下水道管路上舗装復旧工事	2020/7/2	2,431,000	菱中建設(株)室蘭支店
汚水桝設置工事その2	2020/7/7	2,937,000	(株)北信建設
常盤町地区汚水管渠移転補償工事	2020/7/20	51,546,000	(株)北都建設
汚水管渠改良工事その3	2020/9/1	12,177,000	(株)リフィット
汚水桝設置工事その3	2020/9/9	2,145,000	(有)山田産業

### 【個別排水処理施設事業】

予算：資本的支出 款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理整備費

(単位：円)

工事名	契約日	契約額	契約先
合併処理浄化槽設置工事その1	2020/5/25	2,189,000	(株)荒川設備
合併処理浄化槽設置工事その2	2020/6/22	1,980,000	(株)藤田設備工業
合併処理浄化槽設置工事その1(第1回設計変更)	2020/6/23	495,000	(株)荒川設備
合併処理浄化槽設置工事その3	2020/7/21	2,090,000	オール設備(株)
合併処理浄化槽設置工事その4	2020/7/21	2,255,000	オール設備(株)
合併処理浄化槽設置工事その5	2020/8/26	2,277,000	(株)管工設備
合併処理浄化槽設置工事その4(第1回設計変更)	2020/9/18	22,000	オール設備(株)

# 経理の状況

令和2年度 登別市下水道事業会計 貸借対照表  
(令和2年9月30日 現在)

(単位:円)

1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 土地		886,906,909	
ロ 建物	912,121,518		
建物減価償却累計額	<u>△ 241,289,662</u>	670,831,856	
ハ 構築物	29,476,336,046		
構築物減価償却累計額	<u>△ 4,894,416,673</u>	24,581,919,373	
ニ 機械及び装置	2,667,129,415		
機械及び装置減価償却累計額	<u>△ 1,203,756,512</u>	1,463,372,903	
ホ 車両運搬具	1,285,200		
車両運搬具減価償却累計額	<u>△ 805,200</u>	480,000	
ヘ 工具、器具及び備品	15,268,486		
工具、器具及び備品減価償却累計額	<u>△ 13,508,806</u>	1,759,680	
ト 建設仮勘定		<u>46,865,546</u>	
有形固定資産合計			27,652,136,267
(2) 無形固定資産			
イ 電話加入権		<u>1,656,000</u>	
無形固定資産合計			<u>1,656,000</u>
固定資産合計			<u>27,653,792,267</u>
2. 流動資産			
(1) 現金預金		278,521,117	
(2) 未収金		117,612,562	
引当金		△ 7,729,154	
(3) 前払金		62,577,300	
(4) その他流動資産		<u>12,977,394</u>	
流動資産合計			463,959,219
資産合計			<u>28,117,751,486</u>
3. 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,658,462,720		
企業債合計		<u>15,658,462,720</u>	
(2) その他固定負債		<u>320,000</u>	
固定負債合計			15,658,782,720
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	608,968,282		
企業債合計		<u>608,968,282</u>	
(2) 未払金		0	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金		—	
ロ 法定福利費引当金		—	
引当金合計		<u>0</u>	
(4) 預り金		7,781	
(5) その他流動負債		<u>34,197,025</u>	
流動負債合計			643,173,088
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金		12,136,924,769	
(2) 収益化累計額		<u>△ 2,670,260,495</u>	
繰延収益合計			<u>9,466,664,274</u>
負債合計			<u>25,768,620,082</u>
6. 資本金			
(1) 自己資本金			
イ 固有資本金	1,150,640,328		
自己資本金合計		<u>1,150,640,328</u>	
資本金合計			1,150,640,328
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 国庫補助金	340,627,285		
資本剰余金合計		<u>340,627,285</u>	
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	116,683,641		
ロ 当年度未処理剰余金	<u>741,180,150</u>		
利益剰余金合計		<u>857,863,791</u>	
剰余金合計			<u>1,198,491,076</u>
資本負債合計			<u>2,349,131,404</u>
資本負債合計			<u>28,117,751,486</u>

※償却累計額及び収益化累計額の計上にあたっては、それぞれ減価償却費、長期前受金戻入について、当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

# 令和2年度 登別市下水道事業会計 損益計算書

(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

(単位：円)

1	営業収益			
(1)	下水道使用料	331,304,515		
(2)	処理料	7,914,610		
(3)	他会計負担金	0		
(4)	その他の営業収益	<u>65,400</u>	339,284,525	
2	営業費用			
(1)	総係費	376,995		
(2)	職員給与費	21,029,266		
(3)	管路費	5,615,488		
(4)	処理場費	98,117,098		
(5)	排水設備促進費	202,708		
(6)	し尿投入施設運転管理費	376,500		
(7)	個別排水処理管理費	2,041,192		
(8)	減価償却費	488,426,500		
(9)	資産減耗費	0		
(10)	その他営業費用	<u>0</u>	<u>616,185,747</u>	
	営業利益			△ 276,901,222
3	営業外収益			
(1)	その他営業外収益	6,524,966		
(2)	受取利息及び配当金	10		
(3)	雑収益	165,100		
(4)	他会計補助金	798,000,000		
(5)	長期前受金戻入	<u>201,798,500</u>	1,006,488,576	
4	営業外費用			
(1)	支払利息	134,147,826		
(2)	雑支出	<u>12,606</u>	<u>134,160,432</u>	<u>872,328,144</u>
	経常利益			595,426,922
5	特別利益			
(1)	過年度損益修正益	<u>17,900</u>	17,900	
6	特別損失			
(1)	過年度損益修正損	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>17,900</u>
	当年度純利益			595,444,822
	前年度繰越剰余金			<u>145,735,328</u>
	当年度未処理利益剰余金			<u><u>741,180,150</u></u>

※減価償却費及び長期前受金戻入は当初予算計上額のうち上半期相当分を計上

そ の 他

# 前事業年度の決算の状況

## 【総括事項】

令和元年度においても、市の人口と同様に、前年度に比べて水洗化人口は減少しており、今後も市の人口は減少するものと予測されるため、引き続き経営状況を注視していく必要があります。

下水道事業経営戦略を基に、将来に亘って安定的に下水道サービスを提供するため、事業実施において維持管理経費等の縮減に努めることはもちろん、ライフサイクルコストを低減する観点から、施設の効率的な維持管理に資する施設整備事業を重点的に実施するなど、経営の健全化に向けた取組を行いました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、污水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを着実に実施しました。

### ア 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ90,042m<sup>3</sup>増加の3,182,999m<sup>3</sup>、個別排水処理施設事業で前年度に比べ45m<sup>3</sup>増加の16,669m<sup>3</sup>となりました。

また、接続戸数(浄化槽設置基数)は、公共下水道事業で前年度に比べ154戸増加の20,989戸、個別排水処理施設事業で前年度に比べ6基増加の88基となりました。

### イ 建設改良事業

管渠建設費においては、常盤町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、污水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所での改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、若山浄化センター汚泥処理棟の土木・建築設備の更新工事などを実施したほか、下水道施設全体をより計画的かつ効果的に管理するため、ストックマネジメント計画の基本計画を策定しました。

## 【決算の概要】

### (収益的収支)

収入は、営業収益7億4,428万8,387円(うち使用料収入6億6,166万584円)、営業外収益10億7,686万8,896円の合計18億2,115万7,283円となりました。

これに対し支出は、営業費用13億8,988万3,569円、営業外費用2億8,542万8,890円、特別損失10万9,496円の合計16億7,542万1,955円となり、収支差引による当期純利益は1億4,573万5,328円となりました。

### (資本的収支)

収入は、企業債収入6億1,300万円、負担金及び分担金収入1,030万7,911円、補助金収入2億4,459万9,153円の合計8億6,790万7,064円となりました。

これに対し支出は、建設改良費3億1,057万9,065円、企業債償還金12億2,672万497円の合計15億3,729万9,562円となり、収支差引による不足額は、6億6,939万2,498円となりました。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補てんしました。